



事業者：十勝港食品輸出利用促進協議会

計画概要

十勝港利用の利便性向上（運賃、航路、品目、大ロット化など）や輸送コストの低減に向けた検証を行い、輸出額の増進・安定化を図るとともに、道内輸送距離の短縮による物流効率化を推進する。

目標

十勝港利用の年間輸出額を現状の1億2,287万円から2030年3月までに1億5,973万円まで増加させる。

食料システムへの寄与

道東エリアからの集荷の合理化や長距離陸送の縮減、貨物の集約による物流効率化を進めることで、小規模事業者を含む輸出参加者の拡大、地域分散型輸出拠点の形成及び輸出リスクの分散を図る。また、農産物の安定的な輸出基盤を構築し、国内外の消費者ニーズに対応した安定供給に寄与する。

計画のイメージ



十勝港からの輸送を通じて以下を検証

航路開拓

料金検討

品目多角化

トラック運転時間短縮

鮮度保持

(2026年6月24日認定)